

福井県地質文献目録

—その1—

(A～K)

東 洋 一*

福井県の地質は、古生代シルル紀から新生代までの地層でできており、多様性に富んでいる。また、日本列島の基盤岩とされている飛驒変成岩の露出や各時代の特徴的な化石の産出も知られ、過去に多くの研究が行なわれてその報告が多く出されている。しかし、その研究報告は一般には目にふれる機会が少ないとと思われる。

著者は、今まで個人的な目的で、福井県の地質に関する研究報告の文献カードを作製してきた。今回、多くの方々に福井県の地質の研究成果を知っていただき、多方面に御利用いただければと思いこの文献集をまとめることにした。誌面の都合もあり、本年度はA～Kまでの著者名の文献を集録し、来年度に残りのL～Zまでの文献を集録したいと思っている。しかし、筆者の知り得た文献は限られたもので、まだまだ集録もれの文献もあるかもしれない。その点お気づきのものががあれば、ぜひ御指摘いただければ幸甚と思う。集録もれの文献は来年度の文献集で補遺を行いより完全なものにしてゆきたい。

本文献集の投稿の機会をお与えいただいた小林貞七館長に心からお礼申し上げたい。

A

- 1) 相原輝雄・尾原信彦(1973)：水温および塩分に関する小浜湾の海況。地質調査所月報, **24**, 608-617.
- 2) 天野昌久・遠藤誠道(1952)：大道谷植物化石について(要旨)。地質学雑誌, **58**, 682.
- 3) 安西俊男(1959)：福井県鬼ヶ嶽陶石鉱床。地質調査所月報, **10**, 7, 637-638.
- 4) 有田忠夫・山田一雄・藤則雄・山本應(1957)：福井県大野郡西谷村中島。本布地区地質調査報告。
- 5) 東洋一・三浦静・服部勇(1975)：福井県丹生山地における中新統堆積層の堆積様式(要旨)。日本地質学会第82年学術大会要旨, 75.
- 6) ———・古市洋子(1976)：古糸生湖の植物と古地理。福井市立郷土自然科学博物館博物同好会報, **23**, 1-5.
- 7) ———・三浦静(1976)：福井県の中部中新統にみられる珪質岩について。日本地質学会第81年学術大会要旨, 75.
- 8) ———(1976)：福井市安保山の地質。福井県埋蔵文化財報告第1集, 13-18.
- 9) ———(1977)：丹生山地の第三紀チャートについて。福井県地学会誌, **1**, 4.
- 10) ———(1977)：福井県の第三紀層から産出したチャートについて。福井市郷土自然科学

* 福井県丹生郡朝日小学校

博物館博物同好会報, 24, 15—20.

- 11) ——— (1979) : 福井県丹生山地より産出する中期中新世のチャート. 地質学雑誌, 85, 2, 1—9.

B

- 1) 別所文吉 (19) : 山脈の静動—環根尾谷断層地質構造図. 地質彙報 (金沢大・教育・地学).

F

- 1) 藤本治義 (1957) : 飛騨変成岩の層位学的考察. 地球科学, 32, 4—7.
2) ——— (1957) : 飛騨山地の地質研究. 地質学雑誌, 63, 742, 388—395.
3) ———・鹿沼茂三郎・猪郷久義 (1962) : 飛騨山地の上部古生界について. 飛騨山地の地質研究, 44—75.
4) ———・——・稻森潤・猪郷久義 (1962) : 飛騨変成岩類の地質時代について. 飛騨山地の地質研究.
5) 藤則雄・尾崎金右衛門・柴田昌子 (1958) : 北陸地方日本海沿岸の冲積世泥炭層について. 地質学雑誌 (要旨), 64, 759, 694.
6) ——— (1958) : 福井県足羽川中流における手取層群の新分布地と手取植物群の新産地. 地質学雑誌, 64, 750, 157—158.
7) FUJI, NORIO (1960) : The Palynological Study of Cenozoic Strata in Hokuriku region, central Japan (1). On Alluvial part deposit from Ishikawa and Fukui Prefectures. Sci. Rep. Kanazawa Univ, 7, 113—174.
8) ——— (1962) : 北陸における後期洪積層の花粉分析学的研究. 地球科学, 60・61, 35—44.
9) ——— (1971) : 北陸の海岸砂丘の埋積腐植土層の編年とその生成環境. 第四紀研究, 10, 3, 134—146.
10) 福井県 (1955) : 福井県地質図および同説明書.
11) ——— (1966) : 福井県水理 (地下水) 地質図説明書.
12) ——— (1969) : 福井県地質図および同説明書.
13) 福井三郎 (1945) : 福井県炭鉱調査報告. 地質 (地下資源協会). 1.
14) 船越素一 (1926) : 若狭湾と北但馬及び京都盆地をなす断層線の関係について. 地球, 5, 22—31.

H

- 1) 浜野一彦 (1945) : 中竜鉱山人形断層について. 地質 (地下資源協会), 1.
2) HASEGAWA, Y. (1965) : 'Lepidolina' from the Ohtani conglomerate, central Japan. Earth Science (Chikyu Kagaku), 76, 25—33.

- 3) 畠山 昭・川崎 敏 (1963) : 福井県日野川下流右岸における冲積地の地質と地下水について(要旨). 地質学雑誌, **69**, 814, 346.
- 4) ———、—— (1964) : 福井県日野川下流における冲積地の水理地質. 地質学雑誌, **70**, 824, 278-291.
- 5) 服部勇 (1976) : 福井県南条山地における超塩基性岩の発見. 地質学雑誌, **82**, 11, 739-740.
- 6) ——— (1978) : 内帶古生層地域に分布する緑色岩類中に認められる沸石相および低变成相の広域的分帶の地質学的意義. 岩石鉱物鉱床学会誌, **73**, 222-230.
- 7) ——— (1979) : 美濃帶西部の緑色岩類中に認められる岩石組織の地域的変化. 地質学雑誌, **85**, 177-185.
- 8) ———・吉村美由紀 (1979) : 美濃帶北部南条山地における古生代緑色岩・石灰岩塊を含む地層の産状と分布. 福井大・教育・紀要, II, 自然科学(地学編), **29**, 1-16.
- 9) ———・HIROOKA, K. (1979) : Paleomagnetic result from Permian greenstone in central Japan and their geologic significance. *Tectonophysics*, **57**, 211-235.
- 10) 早坂一郎・松尾秀邦 (1951) : 福井県大野郡上穴馬村野尻小椋谷産 Permian fossils について(演旨). 地質学雑誌, **57**, 670.
- 11) 広岡公夫・奥出恒夫・西村進 (1972) : 福井県丹生山地火山岩の古地磁気. 福井大・教育・紀要, II, **22**, 1-15.
- 12) 広川治・磯見博・黒田和男 (1957) : 5万分の1地質図幅「小浜」および同説明書, 地質調査所.
- 13) ———・黒田和男 (1957) : 5万分の1地質図幅「鋸崎」および同説明書, 地質調査所.
- 14) 北陸第四紀研究グループ (1969) : 北陸地方の第四系. 地団研専報, **15**, 263-297.
- 15) 堀純郎・堀内文夫 (1942) : 福井県中竜鉱山およびその付近の地質・鉱床・地質学雑誌, **49**, 587.
- 16) 細野武男・広島俊男・鎌田清吉 (1976) : 小浜湾の第四系に関する音波探査. 地質調査所月報, **27**, 1, 15-36.
- 1) 市川渡 (1929) : 越前城崎村地方の地形とその發達について. 地理学評論, **5**, 12, 1058-1072.
- 2) IGO, Hisayoshi (1964) : *Diphyphyllum* from Itoshiro, Fukui Prefecture, central Japan. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Jap.*, N. S., **53**, 170-172.
- 3) 井尻正二 (1936) : 福井県九頭竜川上流地方の地質(要旨). 地質学雑誌, **43**, 513, 479.
- 4) ——— (1936) : 手取統産 *Seymourites* について(要旨). 地質学雑誌, **43**, 513.
- 5) ———・中村利仁 (1937) : 福井県大野郡下穴馬村下山アンモナイト産地(手取統)に於て採取された植物化石. 地質学雑誌, **44**, 523, 859-860.

- 6) 池田和彦 (1958) : 北陸トンネル板取断層付近統合地質調査. 鉄道技研速報, 58.
- 7) 猪木幸男・黒田和男・服部仁 (1961) : 5万分の1地質図幅「舞鶴」および同説明書. 地質調査所.
- 8) 石岡孝吉 (1950) : 福井県九頭竜川上流地方の結晶片岩(要旨). 地質学雑誌, 56, 656.
- 9) ——— (1950) : 福井県九頭竜川上流地方におけるゴトランド紀層の発見(予報). 地質学雑誌, 56, 653, 57-58.
- 10) 磯部一洋・相原輝雄 (1976) : 福井県小浜湾の海況について. 地質調査所月報, 27, 1, 1-14.
- 11) ——— (1976) : 福井県小浜湾の底質分布と堆積環境について. 地質調査所月報, 27, 4, 41-46.
- 12) 磯見博 (1955) : 福井県日野川上流地域の石炭紀層および二疊紀層とその紡錘虫化石. 地質調査所月報, 6, 1, 19-22.
- 13) ———・黒田和男 (1958) : 若狭西部の地質—とくに古生層の層序と構造について. 地質調査所月報, 9, 3, 133-143.
- 14) ———・野沢保 (1960) : ひだ変成岩の構造. 地球科学, 48, 11-20.
- 15) 伊藤政昭・塚野善蔵 (1964) : 敦賀東南山地の地質(要旨). 地質学雑誌, 70, 826, 381.
- 16) ——— (1971) : 福井・滋賀県境の地質構造(演旨). 日本地質学会第79年学術大会.
- 17) ——— (1973) : 日本列島の屈折運動の事実について. 福井市立郷土自然科学博物館同好会誌, 20.
- 18) ——— (1974) : 福井県における『オフィオライト』の分布と古生代の海洋地殻と堆積環境. 福井市立郷土自然科学博物館同好会誌, 21, 1-7.
- 19) ——— (1975) : 福井県における石灰岩層の不整合の条件および褶曲のメカニズム. 福井市立郷土自然科学博物館同好会誌, 22, 55-63.
- 20) ——— (1976) : 福井の地質から考察できるか. 大陸移動の痕跡と地形化石. 福井市立郷土自然科学博物館同好会誌, 23, 7-17.
- 21) ——— (1979) : 敦賀湾周辺地域の変成岩類とその考察(予報). 福井市立郷土自然科学博物館同好会誌, 26, 56-59.

K

- 1) 亀井節夫 (1949) : 飛驒のゴトランド紀層について. 地質学雑誌, 55, 648-649.
- 2) ——— (1955) : 飛驒外縁構造帯について. 飛驒研究連絡紙, 7.
- 3) ———・猪郷久義 (1957) : ひだ外縁構造帯の地質(演旨). 地質学雑誌, 63, 742, 413.
- 4) ———・吉田慎太郎・前田四郎 (1959) : 福井県伊勢産二疊紀紡錘虫(短報). 地質学雑誌, 65, 763, 250.
- 5) ——— (1962) : 飛驒山地のデヴォン系について. 飛驒山地の地質研究, p. 33-43.
- 6) 加納博 (1961) : Maturity からみた大谷礫岩と沢渡礫岩～含花崗岩質礫岩の研究(その10).

- 地質学雑誌, 67, 789, 350—359.
- 7) ———・中沢圭二・志坂常正(1961)：礫岩からみた舞鶴地帯の二疊紀後背地の展望—含
花崗岩質礫岩の研究(その11)—. 地質学雑誌, 67, 791, 463—475.
 - 8) ———・———・猪木幸男・志岐常正(1969)：夜久野进入岩類に伴う高度変成岩類に
ついて. 地質学雑誌, 65, 764, 267—271.
 - 9) KANUMA, S. (1958) : Stratigraphical and Paleontological Studies of the Southern
Part of the Hida Plateau and the Northern Part of the Mino Mountainland.
Jub. Pub. Prof. H. Fujimoto Sixtieth Birthday, 1—43.
 - 10) 細野義夫(1955)：石川県南西部の地質, 石川県の地質. 日本地質学会北陸部会編.
 - 11) ———・三浦静・藤井昭二(1972)：北陸地方の海岸平野の形成過程. 地質学論集, 7,
91—100.
 - 12) ———(1976)：美山町の地質条件とダム建設問題. 日本ダム問題研究会—九頭竜川総合
開発調査報告書, 169—170.
 - 13) 川端一男(1965)：福井県北潟地区の微化石層序について(試案).
 - 14) 河田茂磨(1955)：青海町の清水倉礫岩についての地質学的研究. 資源研彙報, 37, 66—71.
 - 15) 川原田裕・谷岡克己・橋本祐一・今井俊一(1974)：若狭湾(I). 沿岸海洋研究ノート,
11, 143—150.
 - 16) ———・———・———・———(1974)：若狭湾(II). 沿岸海洋研究ノート,
12, 81—86.
 - 17) 河合正虎・今井功・他(1954)：福井県大野郡荒島岳の周辺に分布する中生界の地質並に石
英粗面岩との関係について(要旨). 地質学雑誌, 60, 711.
 - 18) ———・他(1956)：北陸および飛騨の中生界(要旨). 地質学雑誌, 62, 730, 357.
 - 19) ———(1956)：飛騨山地西部における後期中生代の地殻変動, 第1報(荒島岳南方山地
の地質学的研究). 地質学雑誌, 62, 733, 559—573.
 - 20) ———・平山健・山田直利(1957)：5万分の1「荒島岳」地質図, 並びに同説明書. 地
質調査所.
 - 21) ———・塚野善蔵・他(1958)：飛騨山地ならびにその周辺部の後期中生界について(要
旨). 地質学雑誌, 64, 754, 367.
 - 22) ———(1959)：飛騨山地西部における後期中生代の地殻変動, 第2報(越前, 美濃山地
の地質学的研究). 地質学雑誌, 65, 771, 760—765.
 - 23) ———(1961)：飛騨高原西部における後期中生代の地殻変動, 第3報(白山周辺部の地
質学的研究). 地質調査所月報, 12, 10, 747—762.
 - 24) ———(1964)：5万分の1「根尾」地質図同説明書. 地質調査所.
 - 25) KIMURA, T. (1957) : On the Stratigraphical Horizons of *Podozamites Reinii*
Geyler in the Totori Series. *Japan. Bull. Sen. High Sch. Tokyo Univ. Educ.*,
1, 21—34.

- 26) —————— (1958) : On the Totori Flora (part I), Mesozoic Plants from the Kuzuryu Sub - Group, Japan. *Bull. Sen. High Sch. Tokyo Univ. Edc.* II - 2, 1 - 46.
- 27) —————— (1958) : Mesozoic Plants from the Totori Series, Central Honshu, Japan. (Part I). *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Jap.*, N.S., 29, 166 - 168.
- 28) —————— (1959) : On the Totori Flora (Part II), Addition to the Mesozoic Plants from the Kuzuryu Sub-Group, Totori Group, Japan. *Bull. Sen. High Sch. Tokyo Univ. Edc.*, III, 104 - 117.
- 29) 木村達明 (1967) : 手取層群の植物化石について発見した三つの事実. 科学, 37, 12, 678 - 679.
- 30) 北 卓治 (1955) : 福井県武生市付近地質調査報告. 福井県.
- 31) —————— (1959) : 福井県板東島鉱山磁硫鉄鉱床調査. 未利用鉄資源 (通商産業省地下資源開発審議会鉱山部会), 5, 281 - 285.
- 32) 清野信雄 (1919) : 福井県大野郡面谷鉱山報文. 地質調査所報告, 73.
- 33) 清島信之 (1949) : 越前炭鉱久沢地区調査報告. 地質 (地下資源協会), 1.
- 34) —————— (1956) : 福井県下の含チタン砂鉄鉱床調査報告. 地質調査所月報, 7, 12, 590.
- 35) KOBAYASHI · T., SUZUKI (1939) : Non-Marine shells of Jurassic Totori Series in Japan. *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, 14, 5, 1 ~ 2.
- 36) —————— (1941) : The Sakawa Orogenic Cycle and its Bearing on the Japanese Islands. *Jour. Fac. Sci. Imp. Univ. Tokyo*, Sec 2, 5, 7.
- 37) ——————, HORIKOSHI · M. (1958) : Indigenous *Aturia* and some tropical *Gastropods* from the Miocene of Wakasa in West Japan. *Japan Jour. Geol. Geogro.*, 29, 45 - 54.
- 38) 小林 学 (1954) : 福井県大野郡西谷村付近の地質. 東教大地鉱研究報告, 3.
- 39) 小西健二 (1951) : 福井県産化石図譜第三集 (南条郡宅良村芋平産). 福井市理科研究会編.
- 40) —————— (1954) : 福井県石徹白村の古生層. 地質学雑誌, 60, 700, 7 - 17.
- 41) —————— · 三浦 静 · 大村明雄 (1966) : 雲川 · 本戸地区, 九頭竜川上流および中竜鉱山. 日本地質学会, 地学案内.
- 42) KURODA · Naoshi (1966) : The volcanic rock of the Mikuni coastal area, Fukui-Ken, central Japan, with special reference to basic inclusions occurring in the dacitic andesite of Tojinbo. *J. Earth Sci., Nagoya Univ.*, 14, (2), 159 - 175.